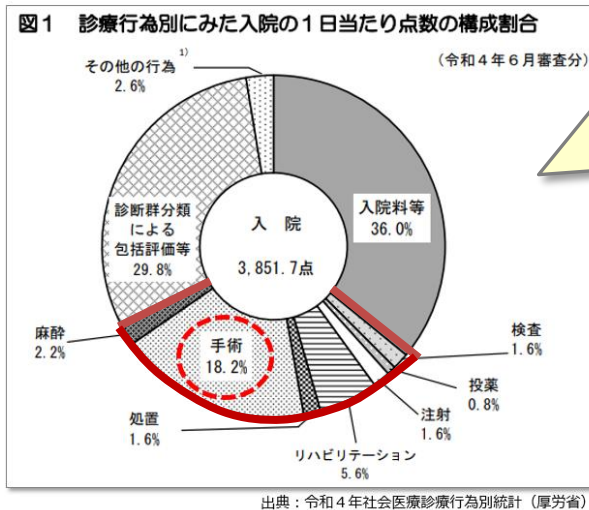
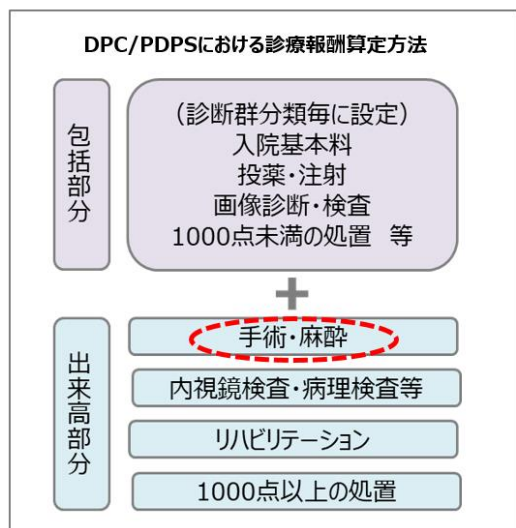


手術関連請求 精度調査

急性期医療において、入院収益（出来高部分）に占める割合が最も大きく、且つ、診療報酬の算定要件等が難解であるものが「手術関連の診療報酬項目」です。この手術料の適正な診療報酬の請求は、当然ながら病院経営において極めて重要な要素の一つと言えます。



DPC請求において、手術料収益は、入院料出来高算定部分の収益のうち、**5割超**を占めています。

調査概要

電子カルテ、手術伝票、レセプトの突合



結果報告書 (イメージ)

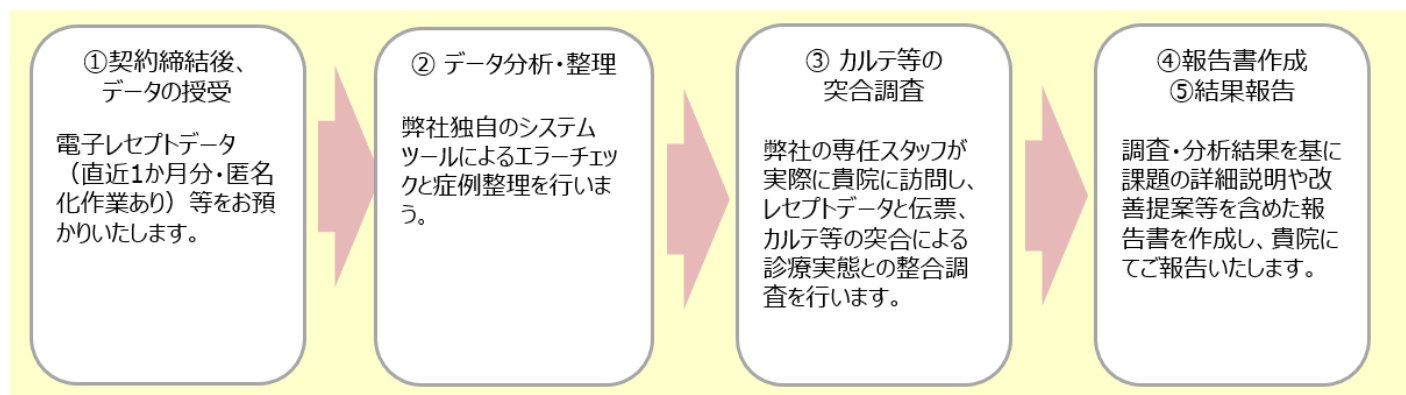
結果) 診療区分別 指摘症例数・割合

診療区分	指摘症例数	割合
①手術手技料	3	10%
②手術料加算	4	13%
③手術・薬剤料	11	34%
④手術・材料	3	9%
⑤麻酔手技料	19	57%
⑥麻酔料加算	4	13%
⑦麻酔・薬剤料	1	3%
⑧麻酔・材料	0	0%
合計	26	76%

結果) 診療区分別 指摘による請求差額

診療区分	過少請求分		過剰請求分	
	件数	金額	件数	金額
①手術手技料	3	¥125,200	6	¥208,960
②手術料加算	4	¥31,000		
③手術・薬剤料	11	¥34,140		
④手術・材料	3	¥85,340	9	¥46,240
⑤麻酔手技料			19	¥254,000
⑥麻酔料加算	4	¥5,350		
⑦麻酔・薬剤料	1	¥900		
⑧麻酔・材料				
合計	26	¥281,930	34	¥509,200

◆ 調査の流れ



solasto

株式会社ソラスト 医療事業本部 品質統括部 経営支援グループ
〒108-8210 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟12階

